

## 参考情報

### 情報開示

当社グループは、「ディスクロージャー基本方針」(<https://www.sompo-hd.com/company/disclosure/policies/>)を定め、お客さま・株主・投資家などの皆さまをはじめとするさまざまなステークホルダーに対して、当社グループの経営状況や各種の取組状況などに関する情報をご理解いただけるように、適時・適切な情報の開示に努めています。

### ホームページ・統合レポート

ホームページでは、企業情報、グループ事業の状況、株主・投資家向けの情報やサステナビリティの取組みなどを紹介するほか、ニュースリリースもタイムリーに掲載しています。また、英文版のページを設け、海外の方にも広く情報を提供しています。

### <当社ホームページURL>

<https://www.sompo-hd.com/>

また、ホームページ以外に、当社グループの概要、経営方針、業績などをわかりやすく説明するため、「SOMPOホールディングス統合レポート」(和文・英文)を作成しています。

### 投資家・アナリスト向け説明会などの開催

投資家・アナリストの皆さま向けに、定期的に説明会を開催しています。説明会資料などは、当社のホームページに掲載しており、どなたでもご覧いただくことができます。

なお、年2回開催するIRミーティングでは、原則グループCEOを含む経営陣が出席し、プレゼンテーションおよび質疑応答を行っています。また、グループCEOを含む経営陣が個別に国内外の投資家と対話する機会を設けています。

これらの対話を通じて、当社の経営方針などを投資家に適切に説明するとともに、投資家の関心や懸念事項については適時

に取締役会や経営陣にフィードバックしたうえで、経営戦略の策定・業務執行を行っています。

2021年度開催の説明会など	
機関投資家・アナリスト向け説明会(IRミーティング)	2回
機関投資家・アナリスト向け電話会議	2回
証券会社主催カンファレンス	7回
個別ミーティング	279回
個人投資家向け説明会	4回

### 本誌に掲載しているサステナビリティ関連情報について

 当社の企業価値向上にとって重要な環境・社会などのサステナビリティに関する情報を、戦略および取組みの一環として掲載しています。詳しいサステナビリティ関連情報は当社WEBサイトおよびサステナビリティレポートをご覧ください。  
<https://www.sompo-hd.com/csr/>

## 社外からの評価 (ESG関連インデックスへの組み入れ)

<p>Dow Jones Sustainability Indices (World/Asia Pacific)</p> <p>Member of Dow Jones Sustainability Indices</p> <p>Powered by the S&amp;P Global CSA</p>	<p>FTSE4Good Index series</p> <p>FTSE4Good</p>	<p>FTSE Blossom Japan Index</p> <p>FTSE Blossom Japan</p>
<p>2022 CONSTITUENT MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数</p> <p>2022 CONSTITUENT MSCI ジャパン ESGセレクト・リーダーズ指数</p>	<p>MSCI ESG Leaders Indexes Constituent*</p> <p>2022 MSCI ESG Leaders Indexes Constituent</p>	<p>2022 CONSTITUENT MSCI 日本株 女性活躍指数 (WIN)</p> <p>2022 CONSTITUENT MSCI 日本株 女性活躍指数 (WIN)</p>
<p>S&amp;P JPX カーボン・エフィシエント指数</p> <p>S&amp;P JPX カーボン・エフィシエント 指数</p>		

\* SOMPOホールディングスのMSCIインデックスへの組み入れ、およびMSCIロゴ、商標、サービスマーク、またはインデックス名の使用は、MSCIまたはその関連会社によるSOMPOホールディングスのスポンサーシップ、推薦またはプロモーションを意味するものではありません。MSCIインデックスは、MSCIの独占的財産であり、その名称とロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標またはサービスマークです。

## ガバナンスメンバーによる統合レポートの承認

### 統合レポート2022の発行にあたって

昨年5月、当社は「“安心・安全・健康のテーマパーク”により、あらゆる人が自分らしい人生を健康で豊かに楽しむことのできる社会を実現する」というパーパスを公表し、この1年間、グループを挙げてパーパス実現に向けた取組みを進めてきました。本レポートの制作にあたっては、その取組みをステークホルダーの皆さまにわかりやすくお伝えするために、「価値創造サイクル」に沿った形でお示しすることにしました。

この「価値創造サイクル」は、まさにSOMPOらしく価値を創造するべくグループ各社が回していくサイクルで、「MYパーパス」に突き動かされるカルチャーを醸成する「原動力ルート」(左)、共創志向にもとづく高品質のサービス提供により信頼・共感を生み出す「既存ビジネスルート」(右下)、データを駆使しDXによる差別化とSOMPO独自のビジネスモデルであるRDPIによる「新たな価値創造ルート」(右上)の3つで構成しています。そして、この3つを循環させてさまざまな価値を生み出し続けることが、サステナブルな成長を目指す当社のパーパス経営です。

今回のレポートでは、このサイクルの起点となる社員一人ひとりの「MYパーパス」に焦点を当て、各取組みに携わる社員の「志」や「想い」も含めたストーリーをお伝えすることで、読者の皆さまに、リアル感や躍動感、そして「SOMPOなら」という実現期待を抱いていただけるよう心掛けました。そして、これらの取組みから生まれる価値は、将来的には財務価値そして企業価値の向上につながる「未実現財務価値」でなければなりません。この点についても、人的資本を中心に将来財務につながるインパクトパスや重要なレバーを明らかにするとともに、KPIを設定し、その進捗をお示しすることで、グループの価値創造とパーパス経営の進捗状況をコミュニケーションするというチャレンジを開始することにしました。

昨年度は2期連続の史上最高益を達成しましたが、これを一時的なものとしてせず持続的な成長につながるためには、パーパス経営を加速することが必要不可欠です。MYパーパスを起点に、いたるところで内発的動機にもとづくチャレンジやイノベーションが生み出される企業文化への変革を真に成し遂げ、SOMPOならではの価値提供を加速させてまいります。

本レポートがステークホルダーの皆さまとの未来に向けた建設的な対話の一助になれば幸いです。



グループCSuO  
下川 亮子

### 編集方針

編集にあたっては「国際統合報告フレームワーク<sup>\*1</sup>」および「価値協創ガイドライン<sup>\*2</sup>」を参照し、価値創造プロセスを用いて活用する資本、ビジネスモデル、ステークホルダーに提供する価値をわかりやすく解説しています。

また、保険業法第271条の25および同施行規則第210条の10の2にもとづいて作成したディスクロージャー資料も兼ねています。

\*1 Value Reporting Foundationが提供している企業の短・中・長期の価値創造ストーリーを伝える国際的な企業報告フレームワーク

\*2 経済産業省がとりまとめた、企業と投資家が情報開示や対話を通じて互いに理解を深め、価値協創に向けた行動を促すことを目的としたガイドライン

### 「統合レポート2022」の制作に携わった当社グループ各社

SOMPOホールディングス：サステナブル経営推進部、広報部、経営企画部、財務企画部、人事部、法務部、事業管理部、デジタル・データ戦略部、グローバル経営推進部、シニアマーケット事業部、IT企画部、秘書部、経理部、リスク管理部、内部監査部、監査委員会室、新事業推進室  
損害保険ジャパン、SOMPOインターナショナル、SOMPOひまわり生命、SOMPOケア、SOMPOアセットマネジメント、フレッシュハウス、SOMPOヘルスサポート、セゾン自動車火災、損保ジャパンDC証券、SOMPOリスクマネジメント、Mysurance、プライムアシスタンス、SOMPOワランティ、損保ジャパンパートナーズ

